

## 1 学校教育目標

- 自ら考え、自ら学ぶ人      ○ 感性あふれる、心豊かな人      ○ 心身を鍛え、たくましく生きる人

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

- |         |                              |                                    |
|---------|------------------------------|------------------------------------|
| ○学校像    | ○ 生徒一人一人の可能性を伸ばせる学校          | ○ 地域・保護者・生徒から信頼される学校               |
| ○児童・生徒像 | ○ 勤勉な生徒      ○ ルールを守り礼儀正しい生徒 | ○ 他者を思いやる人      ○ 夢を育む人            |
| ○教師像    | ○ 教職としての専門性を高める教師            | ○ 自他の人間性を高める教師      ○ 組織で教育を実践する教師 |

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### <学校の現状>

○生徒は何事も明るく前向きに捉え、自分たちの力で授業や特別活動、部活動等を充実させている。授業ではノーチャイムでの始業、終業、運動の祭典「桜魂祭」では応援団や実行委員を中心に、文化の祭典「桜友会」では合唱コンクール、舞台発表、作品展示と各方面で活躍する姿が見られた。宿泊行事や学年行事ではグループ活動を中心に主体的に取り組み成果を挙げている。その原動力は「さく中魂」に象徴される千寿桜堤中学校としての伝統とその改善による自信と誇り、本校独自の品位である。その様子から保護者・地域の温かい理解と協力、教育活動の充実につながっている。

### <成果>

○学校経営方針に「夢や希望をもち、自分を誇れる生徒の育成」を掲げ、学力向上アクションプランをはじめ具体的な取組を実践した。「一人一人の可能性を広げ伸ばす」を掲げ、多様性と包摂性のある中学校教育の具現化を図った。生徒たちは授業に真剣に取り組み、補充学習や家庭学習を充実させ、学校生活や行事では「一生懸命の精神」と自律心をもち、自分たちの力で様々な活動を充実させている。目標である「確かな学力の定着、自律心に基づいた自己指導能力と課題解決能力、豊かな人間性」の育成を生徒たちの主体的な取組により、成長を実感することができた。

- ・すべての教育活動を実施でき、それらの活動に対する保護者の皆様、地域の皆様の理解と協力、支援を得ることができた。
- ・小中連携では「言語活動を通じた表現力の育成」を重点に生徒たちの学習意欲や学習スキルの向上、教員の授業力の向上を図ることができた。
- ・あだち防災教育推進校としての取組は、地域・学校・保護者が一体的に推進する教育活動として有機的な効果を発揮することができた。

### <課題及び解決の方向性>

○「誰一人取り残さない」というSDGsの目標を掲げている。生徒全員の充実した学校生活が課題である。生徒たちが抱える悩みや困り感を早期発見、早期解決しながら生徒全員が本校での学校生活を楽しく思い、意欲的に生活し、保護者の皆様、地域の皆様からの信頼を高めていく。

- ・学校の課題：学校経営方針の具現化を図るために教職員の組織的実行力を高め、校内の教育活動のみならず、小中連携事業やPTA活動、地域活動との連携を図る。また、配慮を要する生徒への支援体制の充実を図るとともに不登校未然防止が課題。学校図書館利活用推進校として、「学習・情報センター」として効果的に活用し、生徒一人ひとりに合わせた学び方を保障する。あだち防災教育を継続し地域と協働した防災活動の推進が課題。
- ・生徒の課題：自己指導能力や課題解決能力を向上させ、確かな学力を身に付けることや豊かな感性をさらに磨く意欲を高め、豊かな心の醸成が課題。
- ・教員の課題：個々の能力や実践、人間性を尊重し、学校としての学習指導力、生徒指導力、進路指導力などの組織的な教育力を高めることが課題。
- ・保護者・地域の課題：PTAの運営本部を中心にサポーター制度を充実させ、活動への参加機会を増やし、三位一体となった良い学校づくりが課題。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
1	学力向上アクションプラン（自ら考え、自ら学ぶ人）	○	○	○	○	○
2	全教育活動を通じた多様な感性と豊かな心の育成（感性あふれる、心豊かな人）			○		
3	自己指導能力の向上による課題解決能力の育成（心身を鍛え、たくましく生きる人）			○		

## 5 令和8年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題			達成度 ◎○△●		
・学力向上アクションプランの実践により、各種学力調査等に対応できる確かな学力を定着させる		・令和8年度、区学力調査通過率各学年・各教科令和7年度以上	自己評価の際に記入						
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業の充実	全学年 全教科	通年	(1) ICT 機器を積極的に活用し、個々の生徒に応じた学習形態を工夫する。個別学習、グループ学習や探究学習を通して、自己調整力や粘り強さを育む授業改善を図る。 (2) 小中連携では効果的な ICT 機器の活用を重点に主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。 (3) 教員相互の授業観察を年3回以上行う。	KPI 活動指標 (DX 推進プラン)  生徒アンケート  教員アンケート	・ICT 機器活用 授業週3回以上  ・調べる・発表する場面、教職員や生徒、生徒と生徒がやりとりする場面 生徒アンケート 90%以上 教員アンケート 90%以上	自己評価の際に記入		

2	学力向上と定着	生徒各教科	通年各教科適宜	(1) 適宜、学習コンテンツや単元テストを行い、生徒の学力の定着度を測り、補充学習で定着を図る。(AIドリル等活用) (2) 生徒自身が定期考査等目標値を設定し達成するキャンペーンを実施 (3) 学校図書館を学習・情報センターとして効果的に活用し、各教科の目標とする資質・能力を育成する。	学習コンテンツ、単元テスト、到達度調査、レポート作成他	目標達成率 80%以上  生徒アンケート 80%以上  教員アンケート 80%以上  授業で図書や資料を活用した教員の割合 50%以上	<b>自己評価の際に記入</b>
3	英語力の向上	全学年英語科 第2学年英語科	毎週1回給食時 2年生校外学習時	(1) 英語検定受験率を向上させ、学力定着を図る。 (2) 毎週イングリッシュデー昼放送を英語で実施 (3) 2年生はTGGに参加し1日英語を活用した体験学習を行う。また、全学年で様々な体験学習機会を設定し、英語力の向上を図る。	生徒アンケート  教員アンケート	英語検定受験率 前年度以上 英語検定合格率 50%以上 生徒アンケート 85%以上 教員アンケート 85%以上	

<b>重点的な取組事項－2</b>		全教育活動を通した多様な感性と豊かな心の育成（感性あふれる、心豊かな人）					
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>		<b>実施結果</b>		<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
・教科や特別活動を通して多様な感性を磨き、夢や希望をもち、優しさや寛容、思いやりの心などを豊かにする。 ＜キャリア教育・保健教育の推進＞		生徒評価肯定回答	90%以上	<b>自己評価の際に記入</b>			
		保護者評価肯定回答	90%以上				
		教員評価肯定回答	90%以上				
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>							

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
1 各教科で身に付けた知識や技能を活用した <u>多様な感性</u> や <u>豊かな心の育成</u>	生徒アンケート 肯定回答 90%以上 教員アンケート 肯定回答 90%以上  <学校図書館利活用推進> 生徒一人あたり年間 10冊以上 授業で図書や資料を活用した教員の割合 50%以上	1)各教科で身に付けた知識や技能を活用した作品の制作や発表の場を個人や集団で設け、多様な感性や豊かな心を育てる。 (2)自らの問題を発見・解決し、自分の考えを形成するために学校図書館を学習・情報センターとして効果的に活用し、言語能力や情報活用能力を育成する。	<b>自己評価の際に記入</b>		
2 道德教育を通したより良い生き方を考える <u>豊かな人間性の育成</u>	生徒アンケート 肯定回答 90% 教員アンケート 肯定回答 90%	1)「考え、議論する」道德の授業を推進する。 (2)すべての教育活動を通して、道徳的な態度やよりよい生き方を考える。			
3 授業や特別活動による <u>自己有用感の育成</u> と <u>社会貢献意識の向上</u> 、 <u>帰属意識</u> や <u>マナー</u> 等、 <u>相互の思いやり</u> の心の育成	生徒アンケート 肯定回答 90% 教員アンケート 肯定回答 90%	(1)生徒会活動や学級活動、行事で目標を掲げ達成する。 (2)社会貢献を意識した生徒会活動や学級活動、学校行事などを計画し、仲間と協力して実践する。 (3)特別活動、部活動などをおして、礼儀やマナーを身に付け、帰属意識を高める			

重点的な取組事項－3		自己指導能力の向上による課題解決能力の育成（心身を鍛え、たくましく生きる人）			
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
・様々な教育活動において自らの目標や課題を明確にし、自己指導能力や自律心を高め、主体的に課題を解決する能力を育成する。<キャリア教育・保健教育の推進>	生徒評価肯定回答 90%以上 保護者評価肯定回答 90%以上 教員評価肯定回答 90%以上		<b>自己評価の際に記入</b>		

B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
1 教科や特別活動における目標達成や課題解決を通じた自己指導能力の育成	生徒アンケート 肯定回答 90%以上 教員アンケート 肯定回答 90%以上	(1)すべての教育活動に目標や課題をもつ。 (2)自分自身や仲間と協働しながら目標達成や課題解決を図り、自己指導能力を高める。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">           自己評価の際に記入         </div>		
2 自ら考えて行動する自律心をもたせるとともに自ら厳しさを求め取り組む自己指導能力と課題解決能力の育成	生徒アンケート 肯定回答 90%以上 教員アンケート 肯定回答 90%以上	1)学校生活に自ら課題をもち、その解決策を自らまたは仲間と協働的に考え解決する。 (2)何事にも自律心をもち主体的に解決する。 (3)防災教育等を通して、厳しさや難しさを感じながらも意欲的に取り組む。			
3 行事や生徒会活動、学級活動を通じた自己指導能力に基づいた課題解決能力の育成	生徒アンケート 肯定回答 90%以上 教員アンケート 肯定回答 90%以上	(1)行事や生徒会活動、学級活動のルールなどを自分たちで決めて守る。 (2)学校行事や生徒会活動、学級活動の課題を自分たちで解決する。 (3)教育相談機能を活かしたサポート体制を確保する。			

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入します。  
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。